




記者発表資料

	令和3年8月26日 【尿中コチニン値測定に関すること】 保健福祉局健康福祉部健康推進課 電話245-5226 内線2632
	【学校での学習に関すること】 教育委員会事務局学校教育部保健体育課 電話245-5941 内線8151

児童の受動喫煙状況を可視化する取り組みをモデル的に実施しました
 ～小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を実施～

千葉市では、子どもの受動喫煙による健康被害を防止するための取り組みの一環として、小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を実施しましたので、お知らせします。

令和2年度の結果でも、令和元年度と同様の傾向がみられました。今後はこの結果を活用し、子育て世帯を含めた市民への啓発を行います。

また、令和3年度も同様に、花見川区と若葉区の2区で尿中コチニン値測定を実施します。

1 趣旨・目的

受動喫煙の健康影響が大きい未成年者については、令和2年4月施行の千葉市受動喫煙の防止に関する条例で、その保護について規定しています。

そこで、子どもの受動喫煙による健康被害を防止するための取り組みの一環として、児童及び保護者が、受動喫煙の状況を正しく理解し、適切に回避行動がとれるよう、令和元年度から小学4年生を対象とした児童の受動喫煙状況を可視化する取り組み（尿中コチニン値測定）をモデル的に実施しています。

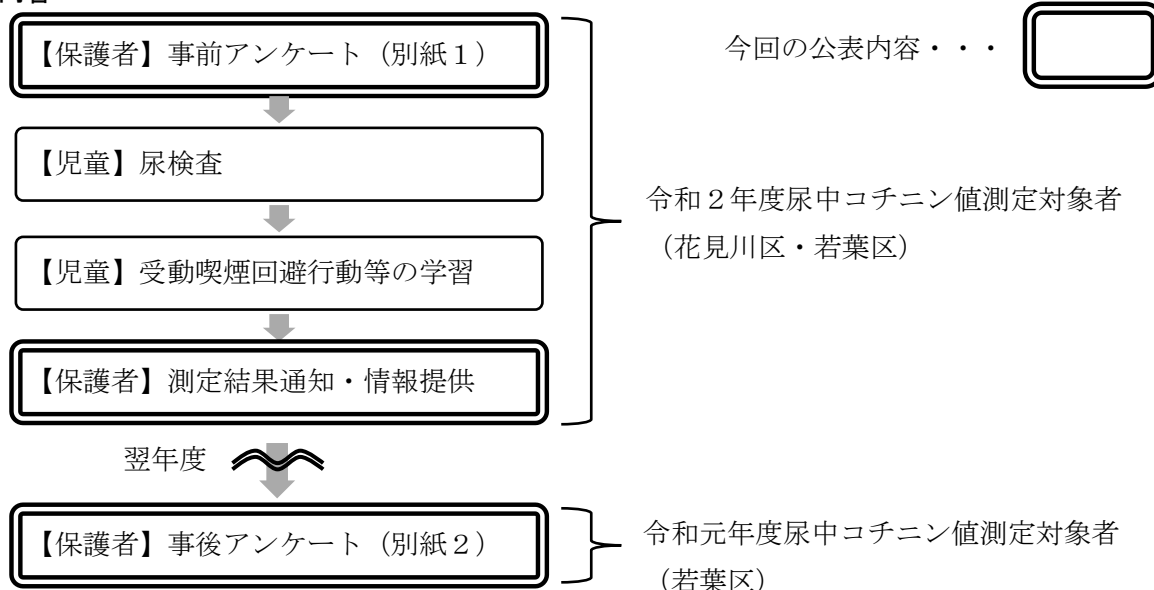
2 対象者

家庭でタバコを吸っている人がいるかどうかにかかわらず、児童全員を対象とし、保護者に検査希望の有無を確認しました。

①令和元年度 若葉区の市立小学校20校に通う小学4年生 1,033人

②令和2年度 花見川区及び若葉区内の市立小学校40校に通う小学4年生 2,346人

3 実施内容



4 結果概要

(1) 令和2年度尿中コチニン値測定

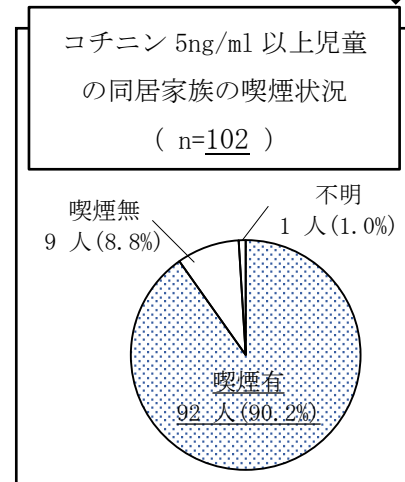
ア 尿検査（尿中コチニン値測定）の結果

尿中コチニン値が5 ng/ml以上の児童のうち、90.2%は同居家族に喫煙者がいました。受検者の1割前後が5 ng/ml以上であることを含め、令和元年度と概ね同様の傾向です。

	n=901	n=704 ^(※1)	n=1,605 ^(※1) (人)
	花見川区	若葉区	計
コチニン 5ng/ml 以上 ^(※2)	50 (5.5%)	52 (7.4%)	102 (6.4%)
コチニン 5ng/ml 未満	851 (94.5%)	651 (92.6%)	1,502 (93.6%)

(※1) うち1名は、測定不能

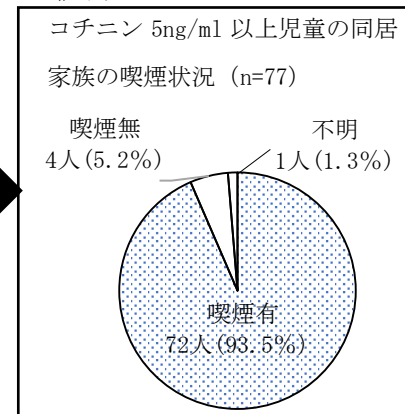
(※2) 受動喫煙を受けているとするとする値を5 ng/ml以上と設定



(参考：令和2年11月公表分の再掲) 令和元年度尿中コチニン値測定

尿中コチニン値が5 ng/ml以上の児童のうち、93.5%は同居家族に喫煙者がいました。

	n = 757 (人)
コチニン 5ng/ml 以上	77 (10.2%)
コチニン 5ng/ml 未満	680 (89.8%)



イ 実施状況

(ア) 事前質問票によるアンケート及び尿検査の状況

アンケートの回答率は全体の95%を超えており、尿検査の実施割合は全体の約7割でした。

	n=1,322	n=1,024	n=2,346 (人)
	花見川区	若葉区	計
アンケート回答数	1,290 (97.6%)	984 (96.1%)	2,274 (96.9%)
尿検査実施	901 (68.2%)	704 (68.7%)	1,605 (68.4%)

(イ) アンケート調査

a 喫煙者の有無

児童の同居家族に喫煙者がいる割合は全体の約4割で、花見川区より若葉区のほうが高い割合でした。

	n=1,290	n=984	n=2,274 (人)
	花見川区	若葉区	計
同居家族に喫煙者有	457(35.4%)	425(43.2%)	882(38.8%)
同居家族に喫煙者無	831(64.4%)	553(56.2%)	1,384(60.9%)
喫煙者の有無不明	2(0.2%)	6(0.6%)	8(0.4%)

b 喫煙者の属性(複数回答)

同居家族に喫煙者有の家庭のうち、喫煙者の属性で最も高かったのは父親で84.5%でした。

	n=457	n=425	n=882 (人)
	花見川区	若葉区	計
父が喫煙	395(86.4%)	350(82.4%)	745(84.5%)
母が喫煙	120(26.3%)	158(37.2%)	278(31.5%)
その他同居家族が喫煙	37(8.1%)	40(9.4%)	77(8.7%)
無回答	3(0.7%)	4(0.9%)	7(0.8%)
(再掲) 父母どちらも喫煙	68(14.9%)	93(21.9%)	161(18.3%)

(2) 事後質問票によるアンケートの集計結果(令和元年度尿中コチニン値測定対象者)

ア アンケート回答数 978人

イ アンケート調査

(ア) 喫煙者の有無

児童の同居家族に喫煙者がいる割合は約4割で変化がありませんでした。

	n=978	n=1,002 (人)
	事後	(参考) 事前
同居家族に喫煙者有	380(38.9%)	418(41.7%)
同居家族に喫煙者無	597(61.0%)	575(57.4%)
喫煙者の有無不明	1(0.1%)	9(0.9%)

(イ) 検査前後に受動喫煙について家族の誰かと話をした人数 456人(46.6%)

(ウ) 行動や気持ちの変化があったと回答した人数 257人(26.3%)

→(イ)(ウ)より、一定程度の人数の保護者に受動喫煙について関心を持ってもらえたことが推測されます。

(エ) 行動や気持ちの変化の主な内容（複数回答）

行動や気持ちの変化があったと回答したうち、「子どもと同じ部屋で吸わなくなった」等、子どもの受動喫煙を減らそうとした保護者はいるものの、「禁煙を実行した」と回答した者は10人とどまりました。

n=257 (人)

喫煙所の近くには行かなくなった	75(29.2%)
本数を減らした	66(25.7%)
子どもと同じ部屋で吸わなくなった	46(17.9%)
車で吸わなくなった	24(9.3%)
禁煙を実行した	10(3.9%)

(オ) 変化のきっかけ（複数回答）

各項目で2～3割の保護者がきっかけになったと回答しました。

n=257 (人)

アンケート調査	81(31.5%)
尿中コチニン値測定の結果	65(25.3%)
リーフレット「STOP!子どもの受動喫煙」	55(21.4%)

5 今年度の取り組み

令和3年度は、小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を花見川区及び若葉区の2区（約2,300人）で実施するとともに、令和2年度の尿中コチニン値測定対象児童の保護者に現在の受動喫煙への意識や家庭での喫煙状況等についてのアンケート調査を実施します。

6 子どもを守る禁煙外来治療費助成事業について

千葉県では、妊婦と同居または15歳以下の子どもと同居している喫煙者に対し、保険が適用される禁煙外来治療を対象に、治療費の一部を助成しています（原則として、治療開始前の登録が必要です）。

<助成額>禁煙外来治療に要した自己負担合計額の半分（上限1万円）

<登録方法>各区保健福祉センター健康課へ必要書類を提出

（郵送、電子申請による申請可）



100年を生きる。
千葉県

「人生100年時代のロゴマーク」

《参 考》

1 受動喫煙とは

他人が吸っているタバコから立ちのぼる煙や、その人が吐き出す煙を吸い込んでしまうことをいいます。いずれの煙にもニコチンやタールなど多くの有害物質が含まれており、それを吸い込んだ人にも影響を及ぼします。

2 尿中コチニンとは

タバコの煙を吸い込むことで体の中に入ったニコチンは、コチニンという物質に変わり、尿中に排泄されます。尿中のコチニン値とは、どの程度の受動喫煙を受けているかを客観的に知る目安となりますが、遺伝的要因やその日の体調、受動喫煙を受けてからの時間等によっても左右されるため、測定値の低さが受動喫煙を受けていないことを示すものではありません。